せんがくず新聞

リコー
DesignCenter
編集・制作：梅澤朝樹
発行日：２００７年４月２３日
第２３号
http://umeasaki.com/sengakus/

梅澤!!
逆転ツーランHR！
しかし試合には敗れる！
守備でリズムを作り、今シーズン初勝利！
35
最後は矢野のサヨナラヒット!!
応援団の中、悔しくも1勝1敗!!
2試合連投!!
吉川!!

GK	0	1	0	1	0	0	0	2
リコー	0	1	0	0	1	0	×1	3

	打数	安打	打点	盗塁	本塁打
(八)鈴正	3	1	0	0	
(四)遠山	3	1	0	0	
(六)梅澤	2	0	0	0	
(五)矢野	2	1	1	2	
(二)宗像	2	1	1	0	
(七)畠山	2	1	1	0	
(DH)堀口	1	1	0	1	
(三)近藤	2	0	0	0	
(DH)比留間	2	0	0	1	
(九)金久	1	0	0	0	
吉越	1	0	0	0	
(一)吉川	2	0	0	0	
(DH)佐々木	1	0	0	0	

	三振	安打	四死球	自責点
(投)吉川	1	6	0	2

NEC	1	1	2	0	2	6
リコー	2	0	0	0	0	2

	打数	安打	打点	盗塁	本塁打
(八)鈴正	2	0	0	0	
(四)遠山	1	0	0	0	
(六)梅澤	2	1	2	0	1
(五)矢野	2	0	0	0	
(二)宗像	2	0	0	2	
(七)畠山	1	0	0	2	
(DH)堀口	1	0	0	0	
(三)近藤	1	0	0	0	
佐藤純	1	0	0	0	
(DH)比留間	2	0	0	0	
(九)金久	1	0	0	0	
(一)吉川	1	0	0	0	
(DH)佐々木	1	0	0	0	

	三振	安打	四死球	自責点
(投)吉川	2	4	3	4
(投)矢野	2	1	0	0

安定した守備で1勝1敗
しかし順位は9位・・・！

天気が非常に心配された今日。理想的に天候が遅れ、春のＩＤリーグが開催された。今回は参加チームが9チームと変則的なスケジュールとなり、午前の2試合に勝利しなければ午後は試合ができないという、緊迫した雰囲気の中で開催された。

第一試合の相手はＧＫ。せんがくずは吉川投手を中心に安定した守備で粘り、サヨナラ勝ちを納める。2部優勝する勢いで2試合目に臨むが、ヒットは梅澤のＨＲのみに終わり、敗戦する。

2部リーグは予想外の混戦となり、なんと全5チームが1勝1敗。せんがくずは2試合目の失点の影響が強く、予選敗退という非常に悔しい最悪の結果となってしまった。

サヨナラ勝ちの瞬間

吉川、2試合連投！
サヨナラで初勝利！

この大会、せんがくずは今までにない程の安定した守備を見せた。その中心となったのは、言うまでも無く2試合連投した吉川である。

1試合目は序盤から吉川の丁寧なコントロールにより相手打線を凡打の山におさえる。いつもの嫌な流れを感じなかった。守備の隙をつかれ先制されるも、すぐさま裏に宗像の三ゴロの間に矢野がホームイン。5回にも宗像、畠山で同点と、点差を広げなかった。

時間ギリギリで迎えた最終回。代わった投手から佐々木、鈴正、遠山、梅澤が連続出塁。最後は矢野のセンター前でサヨナラ勝ちを納めた。せんがくずは価値ある勝利を手にし、優勝を目指して2戦目に臨んだのである。

佐々木監督のジャストミート

梅澤、逆転ツーランＨＲ！
しかし打線沈黙で敗戦！

2試合目も吉川が先発した。相変わらずの安定したリズムでＮＥＣ打線に立ち向かう。初回は振り逃げとエラーで失点という勿体無い立ち上がりだったが、その裏、梅澤が嫌な雰囲気を吹き飛ばす。自身完璧と言い放ったスイングで打球は右後方へ。あっという間に逆転し、ベンチはおおいに盛り上がる。

しかし、その後は打線が沈黙。吉川もさすがに疲れが見え、連続四球を出してしまう。ワンポイントで代わった矢野は、甲子園球児に中越えを打たれ、点差をつけられる。最終回も四球とエラーで失点という、せんがくずの弱さが出てしまい、悔しくも敗戦した。

逆転ツーランで盛り上がるベンチ

品川宴会部長、本領発揮！

宴会では品川宴会部長が本領発揮。矢野、佐々木、金久と、せんがくずの色男を次々になぎ倒したが、詳細な写真は割愛する。

まだ平和な頃の宴会風景